

4 DF TONINHO



5 DF TOMITA



11 MF FUJIMOTO



14 FW MORITA



2 DF
OKUNO



17 DF
TUCHIYA



19 DF
KATAOKA



21 GK
EZUMI



22 DF
HATO



27 FW
WAKABAYASHI



28 DF
H.NISHIMURA



32 MF
Y.KOBAYASHI

この選手に注目!

no.8 MF
小林大悟



◇大宮アルディージャのここまでのリーグ戦総得点は16点。そのうち12点に絡んでいるのがMFの小林大悟だ。さらにアルディージャの勝利した試合全てでマンオブザマッチ級の働きをしている。Jリーグオールスターの推薦選手にも選ばれ後は「日本代表に選ばれるのを待つのみ」といった状態だ。その右足から放たれるキックはアルディージャの最大の武器となっている。顔に似合わない華麗なキックを見に、スタジアムへ行こう! 前半戦は小林大悟に依存しすぎ、大悟がダメだとからっきしになってしまうかもしれない。後半戦は依存症を解消し、小林大悟を中心とした華麗な攻撃を見せるアルディージャを見られるかもしれない。

◆現在の太田で、間違いなく「最大の注目選手」であるのは背番号8、小林大悟だ。ここまで今期、太田は12試合消化。その中で小林大悟は、6得点6アシスト。今期の太田の総得点は18。よって今期の太田の得点の実に66%以上は、小林大悟の手によって生み出されたものと言えるのだ。とはいえ大悟は、昨年末ではそんなに得点を取れる選手ではなかった。昨年末までの通算成績は、104試合出場で4得点。それが今期は12試合で6得点。今期、大悟は間違いなく「皮剥けた」のだ。現在、その勢いから大悟は「日本代表入り」への周囲の期待も高まっている。記憶にも新しい、FIFAワールド杯での日本代表の体たらく…。今、日本代表は間違いなく、新しい血を求めているのだ。小林大悟が日本代表に、そして日本の中心にのし上がって行くには、所属チームであるJリーグ、太田での活躍の持続は不可欠! 今や太田の中心となった大悟が、日本の中心へ駆け上がる瞬間は、絶対に見逃せない!!

no.9 FW 吉原宏太



昨年はガンバ大阪で出番に恵まれず太田に移籍してきた宏太だが、前半は怪我に苦しみ未だ活躍できていない。しかし、J1通算40得点の実績は伊達ではない。休むチームにもフィットしてきた今後、得点ラッシュが期待できる。

no.6 MF デビッド・マルティネス



今の太田アルディージャで、日本代表候補は? といえば、2番目に挙げられるのはマルティネスだろう。昨年のJ1デビューでは、強いフィジカルと確かなテクニックに、J1関係者を驚かせた。今期は、さらに攻撃にも貢献を見せており、その成長に注目である。

監督 三浦俊也



太田を知り尽くした、J1でも屈指の理論派である、知将・三浦監督。確固たる信念を持ってチームを育て、時には熱く、激しくチームを指導する。今期の中断前までは、テスト期間と位置づけていた監督。後半戦に向け、どんなチームに仕上げるか、注目だ。

no.30 FW 桜井直人



後半戦のキーマンは、ずばり直人だ。シーズン当初は、ひざを痛めてたこともあり出場時間が少なかったが、最も燃えるお台場ダービーに向けて、コンディションを高めていくに違いない。エキサイトしすぎてユニフォームを脱ぎ、イエローになったのは愛敬。熱い彼に注目!



●右サイドバックに注目

今シーズンの太田の右サイドバックは、今年移籍してきた代表経験をもつ渡戸が務めることが多い。タイミングのよい攻め上がりやクロスが持ち味でレギュラーを守っているが、集中力の欠けるプレーもたまにある。このポジションには献身的な働きや攻め上がりを見せる去年までのレギュラーの西村卓朗や、成長著しく三浦監督もレギュラー・クロスと評価する豊富な運動量でサテライトではゴールも奪っている田中輝和が控えている。タイプは違うものの攻撃が持ち味の3人が争うポジション争いはこれから熾烈になりそうであり、注目である。

●ゲーブラに注目

サボータが選手入場の時等に掲げる「ゲーブラ」。昨年に比べて5倍くらいに増えている気がする。選手への思いを込めたゲーブラは、スタジアムを盛り上げ、選手を後押しする。スタジアムに林立する多種多様なデザインのゲーブラにも、注目あれ!

15 MF SAITO



16 MF HIRANAGA



18 MF TASHIMURA



20 GK ARATAN

